

株主の
皆さまへ

第160期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日



住友大阪セメント株式会社

証券コード: 5232

● 株主・投資家の皆さまへ



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第160期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

取締役社長 諸橋 央典

売上高

204,705百万円

前期比20,495百万円(11.1%)増

経常利益

△7,849百万円

前期比17,683百万円減

● 第160期の経済情勢

当期におけるわが国経済は、為替の動向等による物価上昇の影響がみられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことに加え、海外経済の改善や政府の経済対策等の効果もあり、緩やかな持ち直しの状況が続きました。

セメント業界におきましては、都市部における再開発工事等により民間設備投資が増加したことから、民需が

増加したものの、公共事業関係費予算の減額や人手不足等の影響により、官公需が減少したことから、セメント国内需要は、前期を1.6%下回る37,280千トンとなりました。一方、輸出は、前期を29.1%下回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前期を8.0%下回る45,402千トンとなりました。

● 第160期の業績

このような情勢の中で、当社グループは、当期を最終年度とする「2020－22年度 中期経営計画」に基づき、事業戦略として、セメント関連事業においては、「セメント・固化材の収益力向上と事業基盤整備」・「関連事業の拡大」、高機能品事業においては、「既存主力商品の競争優位性の確保と新製品の開発」に係る諸施策に取り組み、また、環境対策として、「環境対策強化」・「CO₂排出削減への取り組み」を実行してまいりました。

以上の結果、当期の売上高は、セメント事業、新材料事業等で増収となったことから、204,705百万円と前期実績を11.1%上回りました。

しかしながら、損益は、セメント事業等で減益となったことから、7,849百万円の経常損失となり、前期に比べ17,683百万円悪化し、また、投資有価証券売却益を計上したものの、5,719百万円の親会社株主に帰属す

る当期純損失となり、前期に比べ15,394百万円の悪化となりました。

● 第161期の見通し

今後のわが国経済は、為替の動向等による物価上昇や海外経済の下振れによる影響がわが国の景気を下押しするリスクがなお存在するものの、政府の経済対策等の効果もあって、引き続き緩やかに持ち直していくことが期待されます。

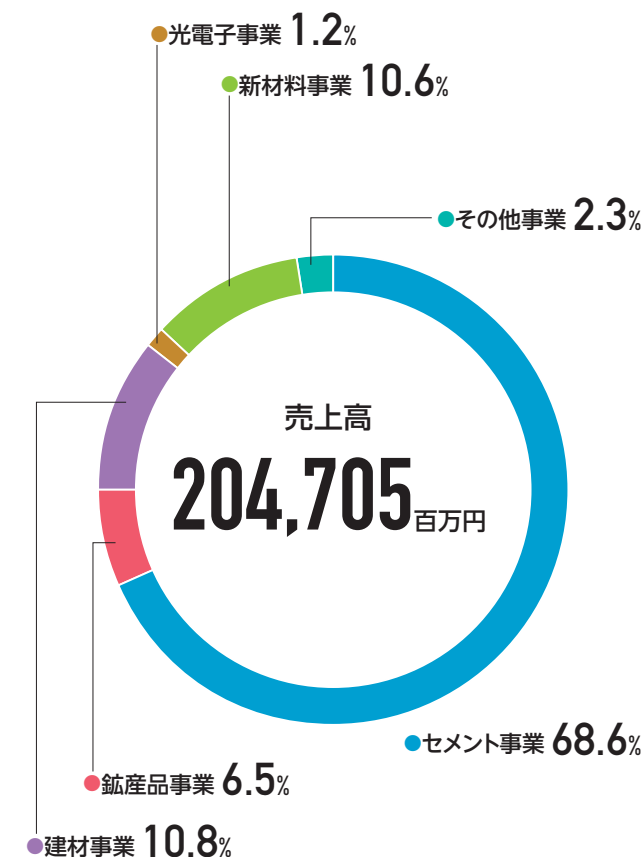
セメント業界におきましては、都市部における再開発工事等の民間設備投資が引き続き増加することにより、民需は、増加すると見込まれ、また、官公需は、公共投資が前年並みで推移すると見込まれることから、セメント国内需要は、増加するものと思われます。

当社グループは、中長期的ビジョンとして2035年のありたい姿「SOC Vision2035」を定めました。本ビジョンにおいては、環境解決をキーワードとして、持続的な成長を通じて、社会の中で存在感のある会社となることを目指しており、その最初のステップとして、「2023－25年度 中期経営計画」を策定しました。

なお、本中期経営計画の概要につきましては、P7-8の「特集 2023－25年度 中期経営計画」をご覧ください。

● 事業別概況

売上高構成比



(注) 電池材料事業を2022年5月1日付で住友金属鉱山株式会社に譲渡したことに伴い、当期よりセグメントの変更を行いました。そのため、その他事業につきまして、前期の数値を変更後の区分に組み替えております。



セメント事業

ポルトランドセメント(普通、早強、中庸熱、低熱)、高炉セメント、フライアッシュセメント、セメント系固化材、生コンクリート、電力の供給、原燃料リサイクル

● 売上高
140,344 百万円
前期比 13,724 百万円(10.8%)増

● 営業利益
△ 19,542 百万円
前期比 17,160 百万円減

販売数量が前期を下回ったものの、コストアップに対応した国内販売価格の値上げを実施したことなどから、売上高は、140,344百万円と前期に比べ13,724百万円(10.8%)増となったものの、石炭価格の高騰等により、損益は、19,542百万円の営業損失と前期に比べ17,160百万円の悪化となりました。



鉄産品事業

石灰石、ドロマイト、タンカル、骨材、シリカ微粉

● 売上高
13,370 百万円
前期比 1,060 百万円(8.6%)増

● 営業利益
2,448 百万円
前期比 184 百万円(8.1%)増

海外および国内鉄鋼向け石灰石が増収となったことなどから、売上高は、13,370百万円と前期に比べ1,060百万円(8.6%)増となり、営業利益は、2,448百万円と前期に比べ184百万円(8.1%)増となりました。



建材事業

コンクリート構造物補修・補強(材料、工事)、各種混和材、重金属汚染対策材、魚礁・藻場礁、電気防食工法、各種地盤改良工事、PC(製品、工事)、各種ヒューム管

● 売上高
22,107 百万円
前期比 1,384 百万円(6.7%)増

● 営業利益
1,511 百万円
前期比 306 百万円(16.9%)減

地盤改良工事が増加したことなどから、売上高は、22,107百万円と前期に比べ1,384百万円(6.7%)増となったものの、営業利益は、コンクリート二次製品の販売数量が減少したことおよび原材料費等のコストが増加したことなどから、1,511百万円と前期に比べ306百万円(16.9%)減となりました。



光電子事業

光通信部品、光計測機器

● 売上高
2,385 百万円
前期比 1,382 百万円(36.7%)減

● 営業利益
△ 129 百万円
前期比 228 百万円減

新伝送方式用光通信部品の販売数量が減少したことなどから、売上高は、2,385百万円と前期に比べ1,382百万円(36.7%)減となり、損益は、129百万円の営業損失と前期に比べ228百万円の悪化となりました。



新材料事業

各種セラミック製品、各種ナノ粒子材料、抗菌剤、化粧品材料、各種機能性塗料、防汚塗料、熱線遮蔽塗料

● 売上高
21,678 百万円
前期比 7,082 百万円(48.5%)増

● 営業利益
5,384 百万円
前期比 2,080 百万円(63.0%)増

半導体製造装置向け電子材料の販売数量が増加したことなどから、売上高は、21,678百万円と前期に比べ7,082百万円(48.5%)増となり、営業利益は、5,384百万円と前期に比べ2,080百万円(63.0%)増となりました。



その他事業

不動産賃貸、エンジニアリング、ソフトウェア開発

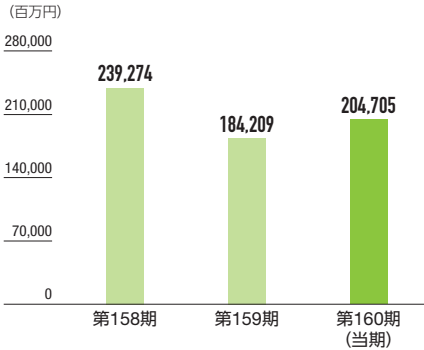
● 売上高
4,818 百万円
前期比 1,373 百万円(22.2%)減

● 営業利益
1,867 百万円
前期比 166 百万円(9.8%)増

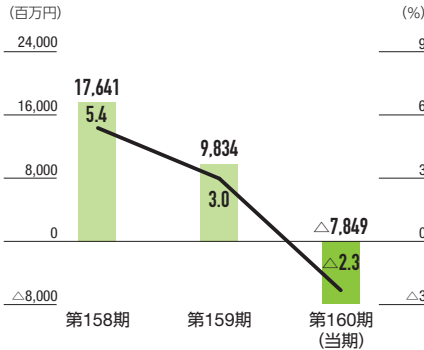
電池材料事業を譲渡したことなどにより、売上高は、4,818百万円と前期に比べ1,373百万円(22.2%)減となったものの、不動産賃貸事業における補修費が減少したことなどにより、営業利益は、1,867百万円と前期に比べ166百万円(9.8%)増となりました。

● 業績ハイライト(連結)

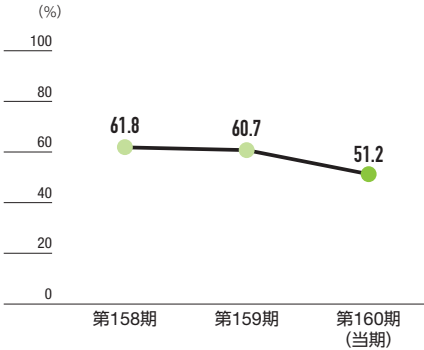
売上高



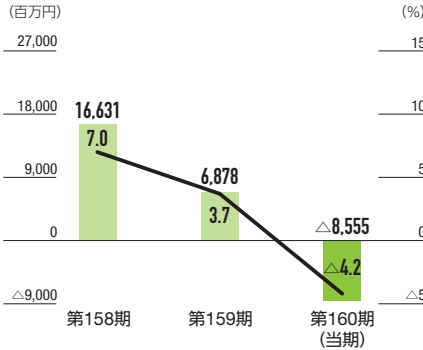
経常利益／ROA



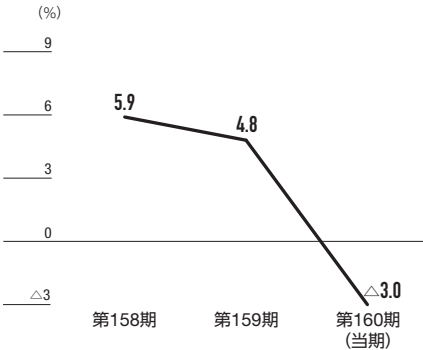
自己資本比率



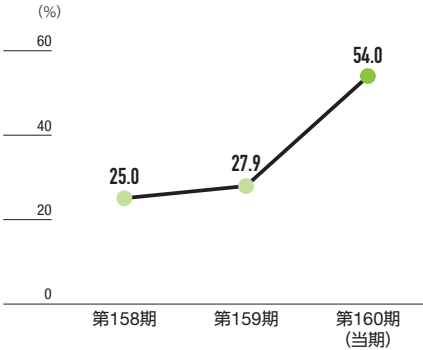
営業利益と営業利益率



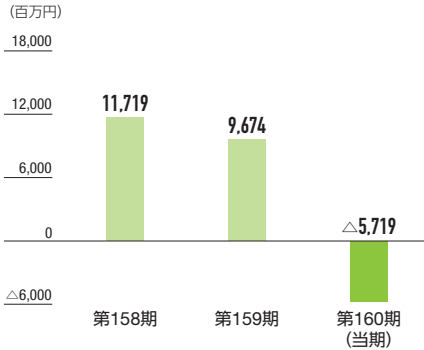
ROE



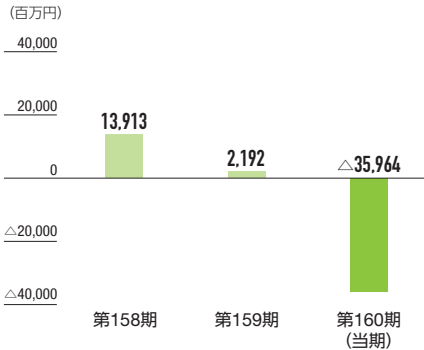
DEレシオ



親会社株主に帰属する当期純利益



フリーキャッシュ・フロー



IRサイトのご紹介

▶ より詳細な財務情報については当社ホームページ「IR資料室」ページをご参照ください。

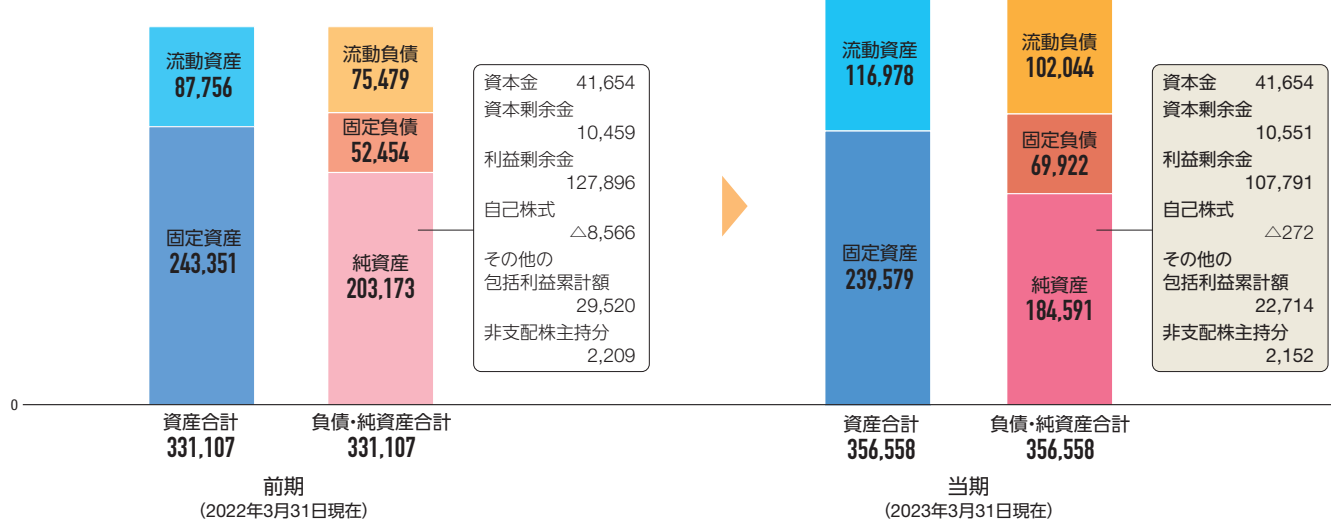
<https://www.soc.co.jp/ir/document/>



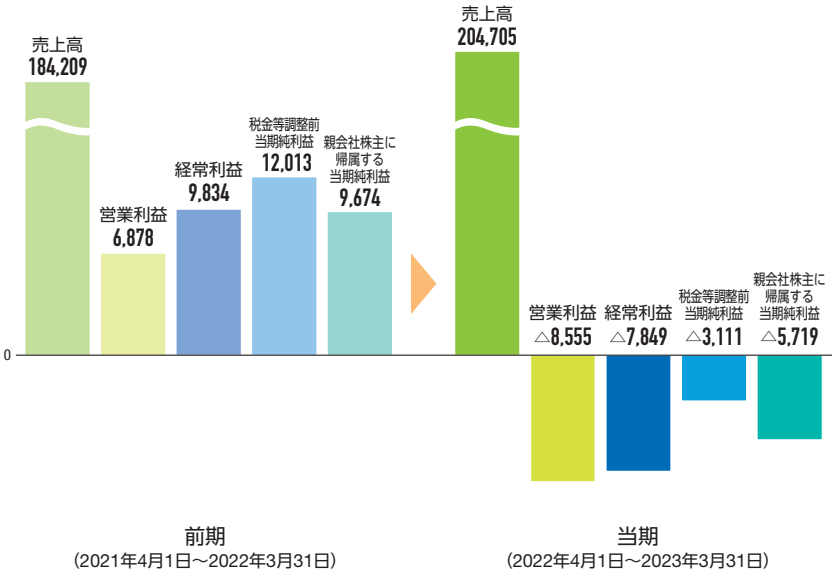
(注) 収益認識会計基準等を第159期の期首から適用しております。

● 連結財務諸表

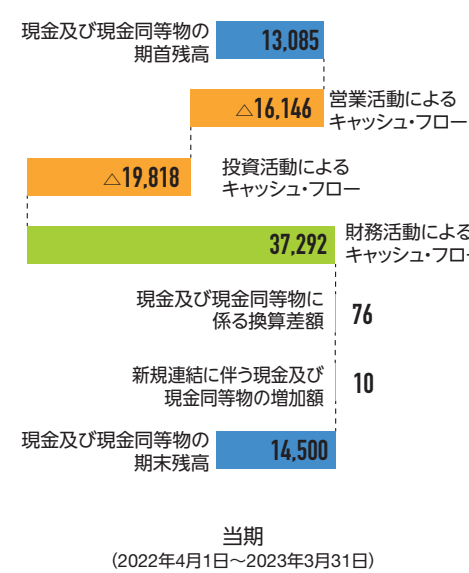
連結貸借対照表の概要(単位:百万円)



連結損益計算書の概要(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



特集 2023—25年度 中期経営計画

中長期ビジョン SOC Vision2035

当社の企業理念に基づき、今回新たに2035年のありたい姿を中長期経営ビジョン「SOC Vision2035」として示しました。そして、「SOC Vision2035」を実現するために最初の3カ年で何をやっていくのかを、バックキャストリングにより「2023—25年度 中期経営計画」として策定しました。



2035年のありたい姿

目指す姿: 存在感のある会社

- 徹底した差別化・独自スタイルによるチャレンジャーとしての存在感
- 時代の要請に応えられる環境解決企業*
- 脱石炭への挑戦

※SOCの環境解決企業とは

循環型社会・脱炭素社会実現に向けて、環境課題に対する解決策(製品、ソリューション)を提供する企業

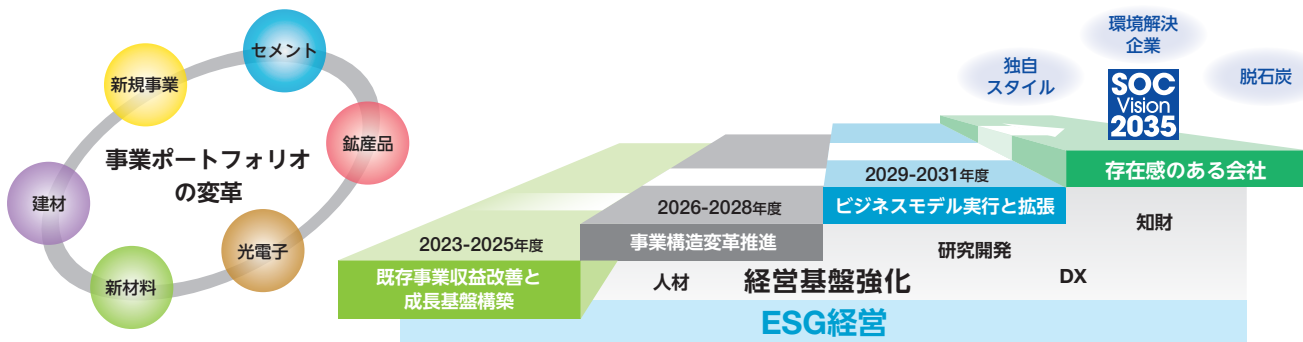
2035年目標数値

売上高 **4,000**億円
営業利益 **400**億円以上
ROE **10%**以上
ROIC **6.5%**以上

事業ポートフォリオ変革

セメント事業 **50%**
セメント事業以外 **50%**

全体像



2023—25年度 中期経営計画

戦略骨子

全社戦略 既存事業収益改善と成長基盤構築

既存事業 収益改善

- セメント事業収益力回復
- 次世代光通信部品の市場シェア獲得による収益改善

成長基盤 構築

- 半導体製造装置向け電子材料事業へのリソース集中投入による規模拡大・収益力強化
- 海外事業拡大(豪州事業)
- 脱炭素分野の新規事業開発

経営基盤強化

人材戦略

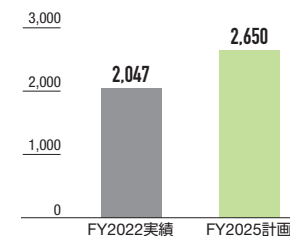
研究開発戦略

知財戦略

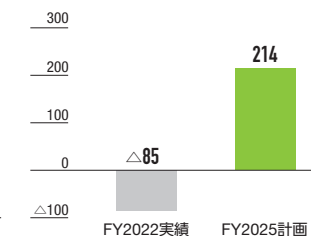
DX戦略

収益目標・経営指標

▶ 売上 (億円)



▶ 営業利益 (億円)



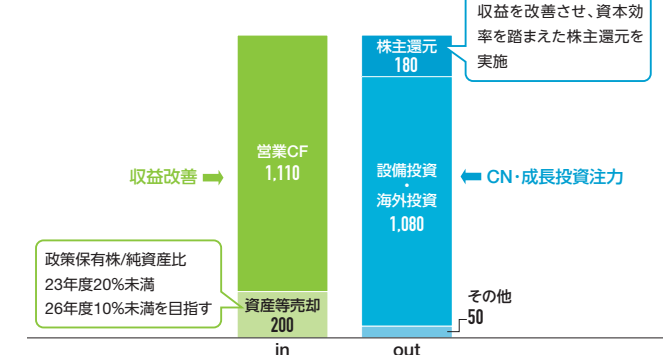
経営指標	FY2022実績	FY2025目標
ROE	△3.0%	8.0%以上
ROIC	△4.0%	5.0%以上

計画前提

- 国内需要: 3,800万t
- 石炭: CIF250\$
- 石油: 90\$
- 為替: 130円/\$

キャピタルアロケーション

▶ 2023—25年度 (億円)



株主還元方針

2023—25年度 中期経営計画期間
安定配当継続をベースに総還元性向
3カ年平均**50%**以上を目指す

「2023—25年度 中期経営計画」説明動画のご紹介

「2023—25年度 中期経営計画」の説明動画を
当社ホームページにて公開しております。

ご視聴はこちら

<https://c-hotline.net/Viewer/Default/365102028e85a7559261a801d4a4401ed5bc>



● 会社概要／株式の状況

会社概要（2023年3月31日現在）

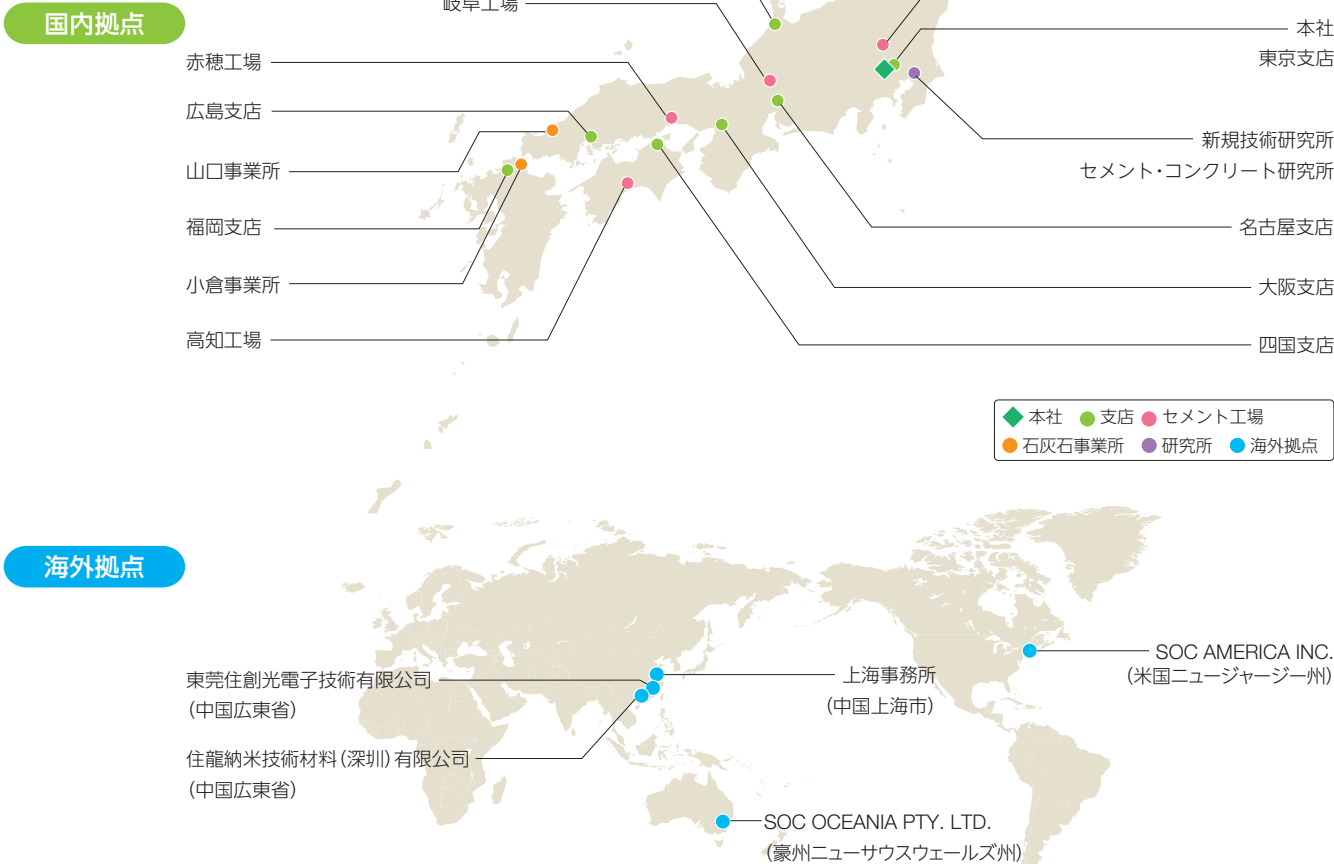
商号 住友大阪セメント株式会社
Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.

設立年月日 1907年11月29日

資本金 416億円

従業員数 1,243名（連結2,896名）

主な事業所

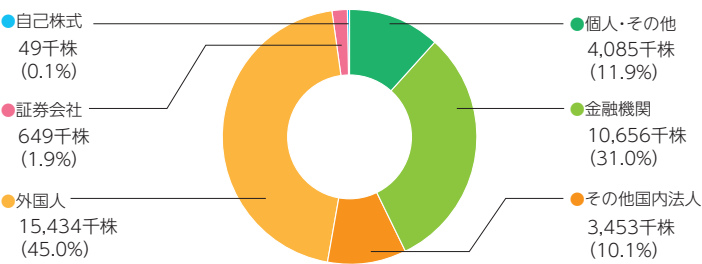


役員および執行役員（2023年6月28日現在）

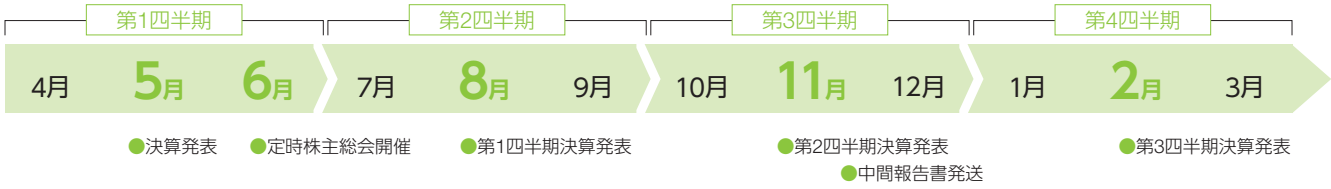
取締役会長	関根福一	常務執行役員	小野昭彦
※取締役社長	諸橋央典	常務執行役員	小堺規行
※取締役執行役員副社長	大西利彦	常務執行役員	小福嶋達雄
※取締役専務執行役員	土井良治	執行役員	柳町ともみ
取締役専務執行役員	小西幹郎	執行役員	細田啓介
取締役常務執行役員	関本正毅	執行役員	橋本康太郎
取締役	牧野光子	執行役員	眞鍋良彦
取締役	稲川龍也		
取締役	森戸義美		
監査役（常勤）	伊藤要哉		
監査役（常勤）	起塚岳哉		
監査役	保坂庄司		
監査役	鈴木和男		
監査役	三井 拓		

（注） 1. ※印表示は、代表取締役を示します。
2. 取締役のうち牧野光子、稲川龍也および森戸義美の3氏は、社外取締役であります。
3. 監査役のうち保坂庄司、鈴木和男および三井拓の3氏は、社外監査役であります。

所有者別分布状況（2023年3月31日現在）



IRカレンダー



株式の状況（2023年3月31日現在）

発行可能株式総数 130,000,000株
発行済株式の総数 34,329,517株
(うち自己株式49,373株)

株主数 21,354名

大株主の状況（2023年3月31日現在）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,804	16.9
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,632	10.6
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,279	6.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U. S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,547	4.5
THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	1,255	3.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,239	3.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	1,193	3.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	873	2.5
住友生命保険相互会社	852	2.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	673	2.0

（注）持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(49,373株)を除いた数に基づき、算出しております。なお、自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が所有する当社株数27,300株は含まれておりません。

ホームページのご紹介

トップ
ページ

住友大阪セメント

検索

<https://www.soc.co.jp>



住友大阪セメント
環境を尊重し、未来を共に築く。

会社概要

製品・サービス・経営戦略

IR情報

CSR活動

お問い合わせ

「IR情報」ページ



株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 電子公告

(公告掲載アドレス
<http://www.soc.co.jp/frame08.html>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120 (782) 031

(インターネットホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

単元株式数 100株

株式に関する住所変更等のお手続についてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続ができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

●株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続で必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

＊配当金に関する支払調書

＊単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様：お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とお取引がない株主様：下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120 (782) 031

住友大阪セメント株式会社

〒105-8641 東京都港区東新橋一丁目9番2号

Tel. 03 (6370) 2700 (代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。